

# あなたの声を町政に

- 制限時間 質問のみ 30 分以内 (答弁は別)
- 質問方法 ☆ 一括方式
- ・最初に全部の質問をし、まとめて回答を得る
  - ・同一議題に対しての質問は 3 回まで
- ☆ 一問一答方式
- ・一問ごとに質問・回答を繰り返す

**一般質問**

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などに方針を問うものです。



議員名でさがす

## 【令和 5 年 12 月定例会】一般質問一覧

|                    |                                                                                                                      |     |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 村田 定 議員<br>【一問一答】  | ① 職員の通年輕装勤務（エコスタイル）の実施<br>② 防犯カメラの設置<br>③ 2024 年度から上下分離方式の運行となる近江鉄道<br>④ 町自治基本条例                                     | 10P |
| 森野 隆 議員<br>【一問一答】  | ① 地方創生総合戦略における当町のまちづくり戦略は<br>② 予算主義から決算主義を取り入れてはどうか<br>③ 鹿児島国体の視察を視察団と道中を一緒に行動されずに、なぜ単独行動されたのか                       | 11P |
| 中川喜代和 議員<br>【一問一答】 | ① わた S H I G A 輝く国スポ・障スポのアーチェリー競技会場の設営や運営等<br>② 町内空き家等の対策計画の進捗状況<br>③ 町道長野・野良田線川原地先（高畑地先）の交差点改良<br>④ 8 号線以西のまちづくりの推進 | 12P |
| 久保田正利 議員<br>【一問一答】 | ① 自治基本条例推進委員会や入札監視委員会の状況<br>② 住民目線の予算編成状況<br>③ 給食センターの運営                                                             | 13P |
| 辰己 保 議員<br>【一問一答】  | ① 駐車場周知看板の撤去に関わって<br>② 公共施設の指定管理者制度<br>③ 高齢者の外出支援<br>④ 国保税事業・介護保険事業<br>⑤ 生理用品を小・中学校のトイレに配置すること                       | 14P |
| 澤田 源宏 議員<br>【一問一答】 | ① 町長自身が思う今後の課題や反省すべきこと                                                                                               | 15P |
| 瀧 すみ江 議員<br>【一問一答】 | ① 育休退園<br>② 雑紙の回収<br>③ 加齢性難聴による補聴器購入への補助制度創設<br>④ 子どものインフルエンザ予防接種に補助をすること                                            | 16P |
| 河村 善一 議員<br>【一問一答】 | ① 竹藪及び雑木林の現状と今後<br>② 小中学校の掃除<br>③ 中学校への進路と愛荘 16 年教育<br>④ 町でも住民参加の推進に関する条例が必要でないのか                                    | 17P |
| 外川 善正 議員<br>【一問一答】 | ① 町東部地域における事業の取り組み                                                                                                   | 18P |
| 小菅 久宣 議員<br>【一問一答】 | ① 公共事業インフラ整備事業<br>② 今年・近年の農業問題<br>③ まちのごみカレンダー                                                                       | 19P |

質  
問  
者  
席

※質問や答弁の内容を要約・割愛して掲載してあります。

## 付託議案

### 議案第 66 号 愛荘町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例

改正の要旨 令和 6 年 4 月より子どもを対象とした福祉医療費助成制度と、障がい者を対象とした助成制度を拡充することに伴い、改正を行うもの。

Q 本条例には定めていない小・中学生の医療費無償化の規定は、どの条例で定めているのか。

A 本条例は、県の補助金の制度に基づく規定を定めており、小・中学生については町単独事業として「あんしん子育て医療費助成条例」で定めている。

### 付託議案の採決

討論はなく、全委員賛成で原案のとおり可決した。

可決

## 調査研究

### ■（仮称）愛荘町こども家庭センター

町は、現在設置している子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターを見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的相談支援を行うこども家庭センターの設置を目指している。その内容について担当課長より説明を受けた。

Q 愛荘町少年センターとこども家庭センターは、それぞれの役割を持ちながら連携することが必要と考えるが、どのように運営を進めていくのか。

A センターの役割は互いに重なっている部分がある。それらを踏まえどのように連携していくのか、子ども目線に立って整理していく必要があると考えている。

その他、業務体制やセンター設置に向けた今後の動きや、地域の支援について質疑を行った。

## 調査研究

### ■新教育大綱の策定にむけて（新たな教育課程の創造）

令和 2 年度から令和 6 年度を計画期間として策定している愛荘町教育大綱・第 2 期教育振興基本計画の改定や、秦荘西小学校をモデル校とし、午前 5 時間制導入について取り組む説明を受けた。

### 午前 5 時間制について

Q この取り組みをするのは、子どもたちの集中力の現状を踏まえてのことか。

A 集中力が持続しにくい現状はある。集中しやすい午前基礎基本をしっかり学び、午後は学習の質を高める長時間学習中心とした活動を行う。授業の質の向上、主体的な取り組みなど検証をしていきたい。

Q 秦荘西小学校がモデル校となる基準は何か。

A 町一斉に始めるにはいろいろな意味でのリスクが伴うため、中規模、小規模校から始めることとする。いずれは全小学校に広めていく予定。

その他、県内の取り組みや中学校に進学した時に 50 分授業に対応できるのかなど質疑を行った。



モデル校指定を予定している秦荘西小学校